

◎ 広報

たかのす

61・1・1

№. 567

発行日 毎月1日・15日

編集と発行 鳳楽町役場総務課広報係

☎ 62-1111

印刷所 樹成文社

迎春



謹賀新年

新年にあたり皆様各位のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

昨年は、町村合併満三十年を迎え、新たな観点に立って将来を展望し、愛町精神を基調として、たくましく躍進することを誓い合った次第であります。

また、平素町政に深いご理解とご協力を賜わっております町民各位をはじめ、国、県ならびに関係機関、団体等に対し深甚の敬意と感謝を申し上げます次第であります。

さて、本年もご存知の通り国家財政をはじめ、県、町ともに、財政は大変厳しく、前途は多難な局面に遭遇しており、自からの問題として、行政改革、財政再建が求められています。

その反面、行政に対する期待と要望は多岐にわたり、財源のともなう需要増と課題も山積しています。

町行政としては、この実情を直視しながらも、これらを選択し、自由経済に対応した体質改善の助長と、町勢の活性化を促す対策に重点をおき、町役職員一体となつて、懸命の努力を傾注する所存であります。

今後とも、より一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

昭和六十一年元旦

鷹巣町長 出川 禮一

■1日(日) 七日市郵便局舎落成記念式典。明治十三年に開設された本局は、老朽と狭隘といふことから、国道一〇五号バイパスの利便な地に移転。近代的な建物として竣工した。

■3日(火) 珪藻土採掘五十年記念ならびに小田集落の各施設の竣工祝賀会が行われた。小田地内は周辺から良質の珪藻土が大量に採掘され、製品化した町の大きな産業となっているが、その発端は小田出身



町長

日誌

出川 禮一

12月1日～15日

の佐藤竹二郎さんが開発に着目し、昭和八年から採掘したことはじまる。以来五十余年。今般、地元小田集落と町でこれを贅えて表彰した。

■9日(月) 農村整備事業の今後の採択をめざし、農林水産省、国土庁、大蔵省に陳情した。

■6日(金) 人権擁護週間にあたり、一日人権擁護委員として街頭で啓蒙を行った。

■13日(金) 二十四日までの会期で十二月定例町議会が開催された。

この日秋田市で、秋田県消防補償等組合議会があり出席した。

午後三時から町議会議員OB会総会に出席。かつては議会で論陣をはった同志と久しぶりに懇談した。

■7日(土) 県北報公会創立三十周年記念式典。現常務理事の村上清さんが、掛泥の自宅を開放して、戦災などで身

■14日(土) 森吉町外四カ町村病院組合管理者、副管理者会議が開催され出席した。

寄りのない年少者の養護をはじめ、保育園、身障者収容施設等々に多くの対象者を集めて運営し三十年となった。いま大野台の一角から福祉の光明を大きく照らしている。関係者のご苦勞に深謝したい。

■8日(日) 秋田県軟式野球連盟四十周年記念式典。本町では審判員の普段の努力によって全県大会の開催も多く、これらが認められて、町の野球協会から、中川会長、成田福治副会長と、町が表彰を受

ことしの七月完成めざし

南中学校が順調な仕上がり

南中学校の新築工事は、鷹巣バイパス沿いに、八月下旬から二カ年事業で行われていますが、進捗率四六%と順調な仕上がりをみせており、ことしの七月完成をめざし、急ピッチで工事が進められています。

国道一〇五号線鷹巣バイパス沿いの脇神字塚ノ岱地内に、昨年五月に用地を取得し、八月下旬から南中学校の建設が進めら

れています。厳冬をひかえて工事は急ピッチで進められています。

敷地は昨年五月に三万三千六百七十八平方メートルを取得していましたが、十二月に鷹巣管林署から二万三千四百九十三・八五平方メートルを取得。合計五万七千七百七十一・八五平方メートルの広さになりました。

新しく建設される南中学校は、校舎が鉄筋コンクリート造り三階建てで、一階は千二百四十五平方メートル、二階は千二百七十三平方メートル、三階は八百五十八平方メートルの計三千三百三十九平方メートル。

体育館は、鉄骨造りでフロアーステージを含めて千二百一平方メートル、渡り廊下が三十六平方メートル、事務室やミーティングルームのクラブハウスは百六十九平方メートルで計千四百六十六平方メートル。合計で四千七百四十五平方メートルの規模とな

ります。

部屋数は、普通教室が八、特別教室は、理科、音楽、技術、調理、被服、美術、視聴覚、図工の八に、準備室が七、集会などに活用できる多目的ホールが二階と三階に、それぞれ百三十五平方メートルのゆとりのあるスペースで造られることになっています。

工事は、雪の降るなか順調な仕上がりをみせ、十二月末で校舎のコンクリート打ちと、体育館の鉄骨が組み立てられ、ほぼ外装が整えられました。

冬期間は、内装工事の仕上げを行うことになっており総工事を六億五千二百十万円のうち、四〇%の進捗率と見込んで、一億七千五十八万三千元が六十年度に支払われる予定です。

完成は、ことしの七月三十一日となっておりますが、学校の教材備品などの移転を行ったあと、二学期から新校舎で本格的な勉強ができることになり、これまで不便であっただけに、関係者から完成が待たれています。

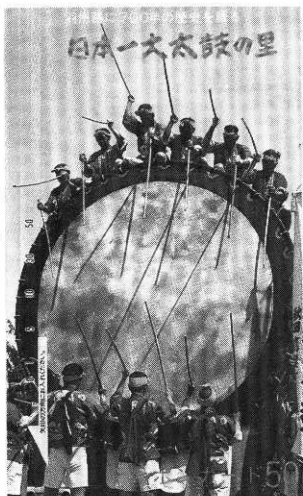
ニセ漏電検査員にご注意

最近、ニセの漏電検査員が現れ、被害を受けた家庭があります。皆さんで被害防止に努めましょう。

ニセ漏電検査員は「東日本漏電火災予防センター」という会社名を名のり、漏電しや断器検査と称して、各家庭を訪問し、検査料五百円をだまし取っています。また、電力会社から来たといつわり「トイレファンが不良で火災の心配がある」といって、市価の数倍の値段でトイレファンを売りつけられたという例もあります。

電力会社では、身分証明書の提示を求めたり、直接電話で問い合わせしてほしいとのことでした。

日本一大太鼓の テレホンカードが完成



秋田県鷹巣町

町では、日本一の綴子大太鼓をデザインしたテレホンカードを作製いたしました。希望者には、一枚五百円（実費）でおわけいたします。役場商工観光課か鷹巣電話局で、一月七日までお求めください。



定例議会 12月

六十年十二月定例町議会は、十二月十三日から二十四日まで十二日間の会期で開かれました。議会は初日に町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われたあと各常任委員会に付託、十六、十七の二日に一般質問、十八日から各常任委員会、最終日に本会議を開いて閉会しました。十二月定例会の行政報告は次のとおりです。なお決定した議案は一月十五日付広報で報告します。

行政報告

国勢調査で人口二四、六二四人

企画財政課関係：昭和六十年国勢調査は、十月一日現在で実施され、概数は、世帯数七千二百二世帯、人口二万四千六百二十四人（男一万一千八百十人、女一万二千八百十四人）となり、前回調査（五十五年）と比べて、一世帯増、四百四十一人減で一・七六％の減少率となりました。

主な理由として、出生数の減少による自然的減少と転入者より転出者が多い、社会的減少によるものと思われる。

町振興基本構想の指針ともなる町民意向調査（アンケート）を、全世帯の約一〇％にあたる七百世帯を対象に実施したところ、六百二十四の回収（八九％）でありました。現在、これらを参考に策定方針に基づき作業を進めております。

南中敷地を追加収得す

平方メートルを追加買収いたします。

また、今泉字大堤脇四十四番地に所在する国有地（溜池三・五五〇坪）の払下げを受け、前山線改良工事より搬出される残土で埋立て工事を行い、運動広場を造成します。

管財課関係：南中学校用地については、すでに取得した用地に隣接する、営林署苗畑二万三千四百九十三

六十年年度地籍調査事業は、小森字赤坂岱外五十二字・五五平方も（小森、四渡、坊山、湯の岱地区）の一筆地調査と細部測量が完了したので、測量図が出来る六十二年三月頃、所有者に対し仮閲覧を予定しております。

消火栓や器具置場を整備

町民課関係：民生関係では社会福祉研修大会を十二月十一日に関係団体等の協力のもとに開催し、福祉行政についての研修を行いました。

交通安全の推進では、本町の交通事故は幸いにも昨年同期より減少しましたが、歳末交通安全週間中に発生した事故が原因と見られる死亡者が出ました。今後は、さらに町民総ぐるみの事故防止運動を進めてまいります。

消防施設の増強整備では、三地区（舟場、材木町、田中）に上水消火栓の設置を進めてきたところ、十一月二十五日に完成。消防器具置場は、摩当、品類地区の工事が十二月四日に完成しました。さらに、小型ポンプの更新についても、第七分団、第十分団に配備完了しました。

国保の無傷病家庭が百四十九世帯

保険衛生課関係：健康な町づくりを目標に、昭和四十八年度から開設しました健康大学講座は、毎年各地区を巡回しており、本年度は六月十四日から十月二十五日まで五回にわたり坊沢地区で開設し、延べ五百三名の参加がありました。また、十一月二日、四日に開催した文化祭期間中の健康展ではがん予防を中心とした、パネル展と健康体操の実技指導を行いました。

国保事業では、被保険者の疾病早期発見に努め、医療費の節減をはかる見地から、助成措置を講じているがん検診は、十一月末現在千九百十二人の実績であります。また、五十九年度中の無傷病家庭百四十九世帯と老人保健法の受給対象者二十六人に記念品を贈る予



定であります。

県指定の、今泉緑地環境保全地域の県単施設整備遊歩道（幅員一・〇メートル）設置工事を、県に要望していたところ、今年度から二カ年事業で施行されることになり、本年度は計画路線約千五百メートルのうち四百メートルを十一月末に完成しております。

マルタカ融資は 三・四倍の利用

参観者で賑わいました。

湯の岱温泉の利用状況は、四月から十一月末現在の換業日数は二百二十八日で入浴利用者は三万五千五百六人となり、一日平均になると百五十四人に当っております。前年同期に比べ、三千四百四十八人の増であります。

中小企業振興資金制度（マルタカ融資）の利用状況

商工課関係：第五回産業祭は、「創意と熱意で地域おこし元年」をメインテーマに、期間中一万六千人の

は、四月から十一月末現在で三十九件、九千五百十五万円、利用残高百六十三件、二億三千八百二十七万四千円となり、預託額に対し、三・四倍の利用額になっております。

出稼者互助会の加入状況は、十一月末現在で二百九十四名となっており、出稼先別では関東六四・九%、中京二一・四%、近畿一〇・七%の順になっております。

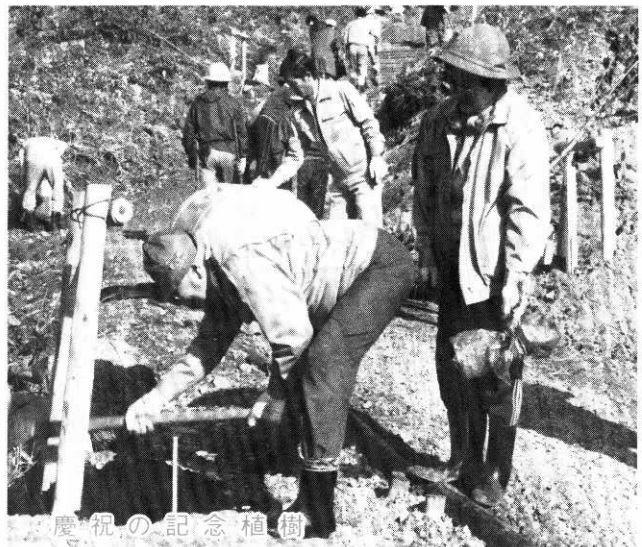
作況指数は「一〇四」でやや良

農林課関係：十月十五日現在、水稲の作柄は作況指数、秋田県「一〇五」、県北「一〇四」（昨年一〇三）のやや良で、十町当り平均収量も県計五百七十三キロ（昨年六百十三キロ）県北五百六十四キロ（昨年六百三十キロ）で、二年続きの豊作となりました。十二月一日現在、町産米総出荷数量は二十一万五千九百九十一俵（昨年最終実績は二十四万三千五百二十六俵）となっております。六十年代から二カ年継続事業として県の指定を受け、農業・農村振興計画策定事業を進めておりますが、現在、基礎調査が終り、向こう十年間における農業面からの町づくり策定計画に着手しました。

九月二十八日二年目に入りました「ふるさと会東京交流会」を、都道府県会館で開催したところ、七十人の参加があり、交流会では親睦を深めあうとともに、今後の町づくりに協力を約し、盛会裡に終了することが出来ました。

大野台国営事業 業は仮同意へ

六十二年度本調査を前に、大野台農業開発事業の仮同意作業が進められておりますが、十一月末現在農用地開発事業五十%、用排水事業三十%の仮同意となっております。今後、第三期（三月末）対策に向け、関係農協、普及所と連携を強め、農業開発可能地を精査し、作目の団地化構想を検討の上、地権者の仮同意作業を積極的に進める予定であります。



大野台地区開拓地農道整備事業（第三期地区）は、第一工区横瀨部落～大野台中新田間が、路体工事と舗装の一部が完了しており、六十一年度中には、全線舗装完了すべく、県に要望中であります。

また、第二工区の佐助岱線については、地権者の合意を得られる見通しとなり、来年度より拡幅工事に着手する見込みです。また、舗装工事延長五百メートルも拡幅工事後、引き続き施工するよう、予算配分方強力に陳情中であります。

懸案でありました美田古地区排水対策事業は、農業サイドの排特事業として、地区調査決定がなされたので、県の基礎調査終了を待って、本採択に努力する所存であります。

十月二十二日、みんなでつくる「緑と憩の森」作りをめざす記念植樹が秋晴れのもと、六十余りの参加により、慶祝森林公園内で行われました。森づくりとあわせて、多くの町民の活用を期待しております。



秋田杉主産地（民有林一万二千ヘクタール）の本町は、林業経営者にとって良質材の生産が生死を分ける主要課題であり、その対策のため十一月十一日、講習会並びに技打ち競技会を、慶祝森林公園で開催しました。

三、三五六ヘクタールを直営で舗装

建設課関係：六十年四月より十一月末日までに発注した各種工事は、八十六件、四億七千四百四十五万二千元、予算対比八三・八%の発注率となっております。本年度計画されている工事については、設計の出来次第発注の予定であります。

直営施行による舗装は、高森傍線外十四路線、延長三千三百五十六ヘクタール一万二千四百二十四平方メートルを完了しております。

除雪については、例年同様、幹線道路、生活路線その他の路線を含めて、百七十三ヘクタールを直営十四台、委託十八台、計三十二台で計画しております。

南中学校の進捗率は四六%

教育委員会関係：南中学校建設工事は、現在、校舎が型枠建込み中であり、十二月二十五日までコンクリート打設完了予定であり、進捗率は四〇%。屋体は、十二月二十五日まで建設完了及び屋根葺完了予定であります。その進捗率は五〇%となります。なお、総体ではおよそ四六%であります。

第二十一回町民駅伝大会は、十月十日の体育の日、陸上競技場を中心に十九チーム二百人の選手に加え、歩こう会やフリーマラソンに、町民百五十人が参加して行われました。

第十七回鷹巣町文化祭は、「町づくりと文化を考える」をテーマに、十一月二日から四日まで中央公民館と鷹巣小学校を会場に、新しく地域展、伝統芸能大会等を加え、多彩に開催され、連日賑わいをみせました。

上水道上半期で九三二万の純利益

水道課関係：上水道事業における上期経営状況では、九百三十一万五千余円の純利益を上げることが出来ました。給水状況は、十一月末現在では三千三十三件で計画件数三千四件に対し、一〇〇・九%となっております。

また工事関係では、東鷹巣橋配水管取付工事が米代川右・左岸ともに十月に完成し、六十一年度本橋添架架設を待つ状況となっております。更に、年次計画で実施しております量水器更新作業は、十二月中完了予定であります。

一方簡易水道事業における工事関係では、綴子簡易水道、大畑橋添架布設工事並びに小田・上町間緊急連絡管布設工事ともに十一月完成を見て、給水体制の確立と保全に努めております。

鷹角線について：昭和六十四年の全線開通に向けて、比立内・松葉間の工事を再開する起工式が、十月二十三日現地で行われました。

中央公民館で

冬期講座の受講生を募集

中央公民館では、初心者を対象に次のとおり定期講座を開設することになりました。希望者は六二一一一三〇へ申込みください。

■中国を知る講座 風俗、生活文化、産業経済、教育、宗教など。1月17日から3月14日までの隔週金曜日。午後七時から九時まで。講師・営農大学中国留学生。

■押し絵 簡単な押し絵の初歩的技術の習得。1月18日から3月15日までの隔週土曜日。午後一時三十分から三時三十分まで。講師・藤井キヨ子さん。

■インテリア・デザイン 表現の技法、光と照明、ディスプレイと透視図法上の留意点など。1月22日から3月19日までの隔週水曜日。午後七時から九時まで。講師・原田雄彦氏。

■ジャズダンス シェイプアップと健康づくり。1月31日から3月14日までの隔週金曜日。午後七時から八時三十分まで。講師・三沢真里さん。

■ヨガ シェイプアップと健康づくり。1月23日から3月20日までの隔週木曜日。午後七時から八時三十分まで。講師・清水紀さん。

■わら細工作り わらぐつ、わらじなどを作ってみよう。1月18日から3月15日までの隔週土曜日。午後一時三十分から三時三十分まで。講師・七日市老人クラブ。

■ちぎり絵 初歩的から。1月20日から3月17日までの隔週月曜日。講師・小塚タツさん。



おしらせ

福祉手当が特別障害者手当になります

四月から障害福祉年金が障害基礎年金に変わって年金額が大幅に引き上げられますが、これに伴い従前の福祉手当は、より重度の障害者に範囲を限定して月額二万円の特別障害者手当となります。

特別障害者手当の概要は次のとおりです。

▽支給要件 二十歳以上で、精神または身体の重度の障害により日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある者（身体障害者療護施設等に入所している者を除く）に支給されます。

▽支給の制限 本人および扶養義務者等の所得が一定額を越えるとき等は、制限されます。▽手続き 四月から施行されますが、申請の受付は一月から行

産業別最低賃金が改正

県内の産業別最低賃金が、十二月二十八日以降次のとおり改正されました。
（一）内は、雇入れ後六ヵ月未満の者、または清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者。
▽食料品・飲料・飼料製造業 一日三千五百円、時間給四百三十八円（一日三千二百三十五円、時間給四百五十五円）
▽繊維産業 一日三千三百六十五円、時間給四百二十一円（一日三千六百六十五円、時間給三百九十六円）
▽木材・木製品・家具・装備品製造業 一日三千六百二十二円、時間給四百五十三円（一日三千二百八十四円、時間給四百一十九円）
▽出版・印刷・同関連産業 一日三千五百十円、時間給四百三十九円（一日三千二百三十一円、時間給四百四円）
▽機械・金属製品等製造業及び

自動車整備業 一日三千六百七十六円、時間給四百六十円（一日三千二百八十四円、時間給四百一十一円）

▽卸売・小売業 ①卸売業、自動車小売業 一日三千六百五十九円、時間給四百五十八円（一日三千五百三十六円、時間給四百四十二円） ②小売業 一日三千四百三十五円、時間給四百三十円（一日三千三百十三円、時間給四百十五円）

◎精皆勤手当、家族手当、通勤手当及び賞与、時間外手当等は右の最低賃金の額から除外されます。

くわしいことについては、秋田労働基準局（秋田六二一六六八）へお問い合わせください。

原爆被爆者二世の無料健康診断

財団法人日本公衆衛生協会で、原爆被爆者二世の無料健康診断を実施します。

希望される方は、次の医療機関の窓口で申し出てください。なおお診にあたっては、各医療機関の外来診察日や受付時間が異なりますので、希望する医療機関または、鷹巣保健所（六二一六五）へおたずねください。

▽実施医療機関 大館市立総合病院（大館市）、秋田赤十字

病院（秋田市）、中通りリハビリテーション病院（秋田市）
▽対象者 両親のどちらかが被爆者である方
▽実施期間 一月十六日から一月三十一日まで

ファミリーコース二キ
▽集合場所 役場前（悪天候の場合中央公民館）
※注意事項
▽伴走者、伴走車は一切認めない
▽本マラソンは競技会ではありません。
▽未修学児の場合は父兄の同伴が望ましい。

停電のおしらせ

一月の作業停電は次の地区です。
▽8日 黒沢（午前九時から正午）
▽10日 佐助岱（午前九時から午後一時）

夜間当番医制（夜間診療）の日程表

午後6時30分～9時

1月	曜日	医療機関名
1	水	戸嶋産婦人科医院
2	木	佐々木産婦人科医院
3	金	佐藤外科消化器科医院
4	土	戸嶋医院
5	日	北秋中央病院
6	月	近藤医院
7	火	奈良医院
8	水	藤原医院
9	木	佐藤外科消化器科医院
10	金	北秋中央病院
11	土	佐々木産婦人科医院
12	日	盛岡外科医院
13	月	鷹巣病院
14	火	戸嶋医院
15	水	戸嶋産婦人科医院
16	木	近藤医院

新春に…期待をかける

能代工・宮野英法くん 高校生活最後の 全日本選手権に

高校バスケットボールの春の選抜、インターハイ、国体の三冠王達成した能代工業高校三年の宮野英法くん（前野町）は、全日本選手権大会をめざして、二月中旬に東北大会予選に出場することに、正月休みを返上して猛練習に励んでいました。

宮野くんは、綴子小学校時代、バレーボール、野球、水泳、スキーと万能選手でしたが、バスケットボールクラブがなかったことから、鷹巣中学校入学と同時に、ためらいもなくバスケット部に入ったそうです。

伝統ある能代工業高校バスケットボール部に入部したのも、自分の限界をためしてみたいという好奇心から。

「夏や冬の厳しいトレーニングに耐え、たくましい根性と実戦を身に付けることが大切だ」ということでした。

一番うれしかったことは「春の選抜



インターハイの決勝戦で（対市立船橋戦）

で優勝した時です。初のベンチ入りで自信ができました」という。また「高校生活最後の国体で優勝し三冠王達成できたのは好運でした」。加藤監督とチームメイトを気づかう、やさしい一面がのぞかれました。

宮野くんは、日本大学に進学する予定であり、全日本学生リーグでも活躍が期待されていますが、当面は三月の全日本選手権大会出場権をかけて若いエネルギーが燃焼されることでしょう。

豪留学生のジルさん

日本レストランの経営が…ユメ

オーストラリアからの留学生・ジルさんは、鷹巣高校に一年間通いながら日本の生活に親しんできましたが、楽しい思い出を胸に一月五日に帰国することになりました。

ジルさんは四家族のホストファミリーにお世話になりましたが、いずれも親切にしていたとのこと、また高校の同級生や先生など多くの友だちができて「日本が大好きになりました。オーストラリアに帰りたくありません」と語っていました。

とくに、最後のホストファミリーの奈良医院では、三世代家族が同居していること、また畳の上のフトンで寝るなどめずらしいことばかり。

綴子大太鼓や盆踊りなど伝統芸能にふれたことや、幼稚園児や鷹巣中生と交歓したこと、トーフ、ユカタ、刺つこを作ったことなど楽しい思い出がい



っぱいとのことでした。

日本の食べものは、何でも好きですが、漬物、ナットウ、トーフ、さしみ、寿しなどが好物で、ジルさんはオーストラリアに帰ったら大学に入って料理の勉強をしたいという。また夜は日本語学校に通って、将来は日本食のレストランを経営するのが夢だそうです。

緑豊かな山々と、広陵とした田園風景がたまらなく好きで、いずれまた鷹巣をたずねたいと語っていました。

パーダミズで毎年がインブロー

鷹巣から四選手が出場

全国女子駅伝で健闘が期待される

一月十九日に京都市で行われる第四回全国都道府県対抗女子駅伝に、鷹巣中学校の相馬祐貴子さん(三年)、前田朋恵さん(三年)、勝又由香さん(二年)と、鷹巣農林高校・神成伸子さん(三年)の四選手が当町から出場することになりました。

四選手は、昨年十一月二十四日福島市で行われた東日本女子駅伝で、東京や千葉、茨城など強豪十七チームを相手に健闘。相馬さんは区間ラップ、ほかの三選手も区間三位となり、秋田県の四位入賞に大きく貢献しました。

全国大会には、四十七チームが参加。秋田県はこれまで三十位以下を低迷していました。鷹中トリオが走り込みで調子を上げてきていることから、こゝしは十位以内が期待されています。

リーダー格の神成さんは「これが最後の競技になるかも知れません。悔い



左から神成さん、相馬さん、前田さん、勝又さん

のないよう全力を出してガンバリます」秋田県のエース・相馬さんは「三年連続の出場です。コースもなれているので前半から勝負したい」。前田さんは「体調はよいので、相手をあまり意識しないで、マイペースで走ります」。勝又さんは「東日本は補欠からの繰り上げ出場でしたが、実績が認められてメンバーに入れそうです」と、都大路にかける抱負を述べてくれました。健闘をお祈りいたします。

とかく冬は運動不足になりがちですが、冬季間の健康増進と力自慢を競いあおうと、第二回町民綱引き大会が、昨年十二月八日(日)午前九時から鷹巣体育館で開催されました。

チーム編成は、男女とも一チーム、八選手と二補欠で、男子が十八チーム、女子は八チームで、計二十六チーム二百六十人が参加。県大会出場をかけて綱の引きあいが続きました。

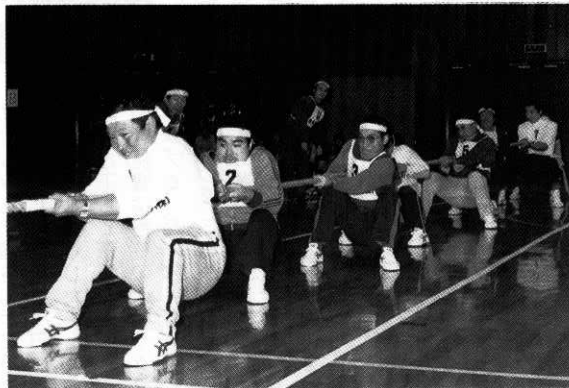
男子八選手の体重制限は五百六十キロで、大会前の計量ですべてのチームがパス。試合は、男子は四と五チームによるリーグ戦で上位二チームが決勝トーナメント。女子は予選、決勝ともリーグ戦で行われました。

チームは、にわか仕立てや、職場、町内どおしで猛練習を積んだものなどさまざまで、応援者もスタンドから身を乗り出して声援を送り、寒気につ

藤島木材が綱引きで

アベック優勝し

全県大会へ出場



まれた館外とはうって違って、館内は熱気がただよっていました。

結果は、男女とも練習量とチームワークのよさから藤島木材が二連勝し、二位には、男子は初出場ながら若さを発揮した田中農業研究会、女子は藤島林産が入りました。

一月二十六日に秋田市で行われる全県綱引き大会には、男二チーム、女一チームが鷹巣町を代表して出場することになり、健闘が期待されています。

鷹巣バイパス完成がまじか

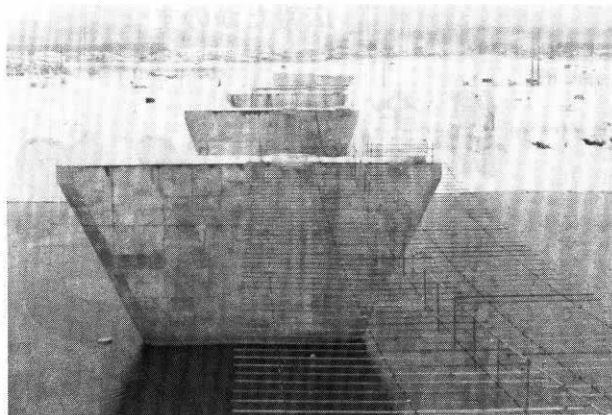
米代川に架設されている現在の鷹巣橋は、幅員が狭く傷みも激しいことから、冬期間や朝夕のラッシュ時の交通渋滞と、老朽の危険にさらされています。

このため町の要請にもとずき、県では昭和五十一年から国道一〇五号線バイパス小森・大堤間六・八四九の開通をめざして工事を行っています。とりあえず緊急を要する小森・あけぼの町内の四・五一七を六十二年に供用開始されるよう急ピッチで工事を進めています。

工事は、これまで小森・米代川右岸間三・三七四と米代川左岸・あけぼの町間〇・八二九の路盤工事をほぼ完了。東鷹巣橋も橋脚四基と橋台工事を完了し、車道幅員六・五、全幅十・七五の架設工事を残すのみとなっております。

また、国道一〇五号線バイパス事業と併行して、都市計画道路路太田・川口線（あけぼの町地内）の拡幅改良舗装工事を進めることになっており、六十二年には、国道一〇五号線と同時に供用開始されることとなります。両線が完成されることにより、阿仁部と七日市方面からの車両の流れはスムーズになり、これまでの交通渋滞が大幅に緩和されるとともに、時間と距離も短縮されることから、多くの関係者からは一日も早い完成が待たれています。

なお、あけぼの町から国道七号線に交叉する大堤地内までの工事は、六十二年以降に予定されていますが、全線開通されると、総延長が六・八四九となり、町内の交通体系も一層整備されることとなります。



町は変貌する



ふるさとの特産品づくりに意欲を燃やしている南鷹巣・堀部陽二さん（46）が、五年前から葛黒でヤマメを養殖しています。付加価値を高めようと薫製の製造に挑戦。このほど「ヤマメくん」の新製品を開発して注目を集めています。

豊富な自然の湧水を利用し、水田転作として約二百平方メートルの養魚池をつくり、三万尾のヤマメを養殖していますが、これまでは、生のまま大館市などへ出荷していました。

特産品の「ヤマメくん」発売

堀部さんは、軌道にのったヤマメ養殖の付加価値を高め、生産を安定させようと、年中出荷ができ比較的保存のきく薫製加工に着目したものです。

ヤマメの薫製については、これまであまり例がないことから、県養殖組合の講習会に参加するなど、技術の取得に努めてきました。

薫製は一年もので十八粒くらいのヤマメの内臓を取ってきれいに水洗いし、タレに半日つけて味付けし水切りしたあと、一時間ほど干して薫製器に入れるもの。材質は香りのよいサクラのチップで、五・六時間かけていぶすもので、二日かかりで独特な風味の薫製ができあがります。

三匹入れて真空パックにし、「ヤマメくん」のレッテルをはって、市販される予定ですが、値段は一パック六百元。これから販路を開拓し、一般にお目見えする日もまじかです。

堀部さんは、イワナの養殖にも挑戦し、サシミ用に出荷したいと意欲的で、六十一年は飛躍の年にしたいと大はりきりでした。

「太鼓の里づくり」をめざして、昨年、町内に二つのサークルが誕生しました。

銀座通り商店会青年部では、本物の小倉から講師を招いて、「無限太鼓」に取り組んでいます。すし、観光開発研究会では「鷹巣ばやし」の普及部会を発足させて練習に励んでいます。

鷹巣ばやしは、元鷹巣高校の川口洋一郎先生が、県内の太鼓の民俗芸能のよいところを取り入れて、十二曲ほどを作曲したものです。

昨年の七月に五人の会員で発足。鷹巣の祭典で妙技を披露し、多くの町民から盛んな拍手が送られていました。

その後、会員は二十五人に増え、鷹巣小学校を借りて、第二と四の木曜日午後七時から九時まで定期練習をやることもに、小学校の正課クラブで児童十三人に、ふるさとの伝統を受け継いでほしいと、鷹巣ばやしの指導を行っています。

太鼓、笛、カネの組み合わせで、リズムカルな軽快さと、時には壮大なバチさばきで曲が構成されており、米代川の流れや、稲

太鼓の里づくりをめざす

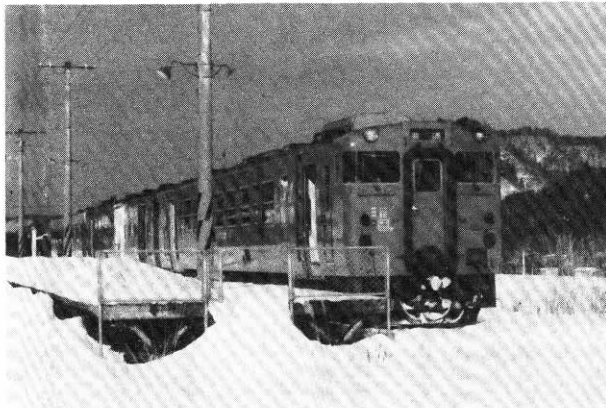


穂がゆれる秋など、鷹巣町の四季などが収められており、これまでに四曲がマスターされています。

道具も、シメ太鼓七個に大太鼓一個、カネが二個と増えてきており、会員の増加とともに、道具の確保も今後の課題とのことでした。

鷹巣ばやしの出演依頼も多く、会員の活躍の場も多くなってきたので、さらに技術を高め、鷹巣町の伝承芸能にしたいとほりきっています。

躍進する61年



鷹角線は十月から新会社で運営

昭和十一年九月に鷹巣・阿仁合間が開通して以来、鉱石の運搬と通勤通学の足を確保。三十二年には阿仁合・角館間が着工線に決定。三十八年十月に阿仁合、比立内間十三キロを開業。四十五年十一月に角館・松葉間十九・二キロが開業。鷹巣・角館間九十四・六キロの鷹角線は比立内・松葉間の二十九・三キロが未開通のまま、角館線が五十六年九月に特定地方交通線第一次選定線として、五十九年六月に阿仁合線が第二次選定線として廃止

対象路線に決定されました。

しかし、南北を結ぶ鷹角線は半世紀におよぶ宿願であり、住民の足を守るために、五十九年十月三十一日に秋田内陸縦貫鉄道株式会社を設立し、第三セクターで運営されることになりました。

六十年九月十一日には運輸省から未開通区間の地方鉄道業免許状が交付され、十月二十三日に比立内、松葉間の工事再開の起工式が行われ、十二月下旬から戸島内トンネルが掘削されました。

六十一年十月には、阿仁合・角館両線とも、いっさいの施設設備は国鉄から無償で貸付または譲渡され、新会社で経営されることになりました。

六十四年四月には、鷹角線九十四・六キロが全線開通され、仙北、阿仁、鷹巣の沿線町村の発展を担うローカル線として再生されることになりました。

半世紀におよぶ「まぼろしの鷹角線」は、沿線住民の夢と希望を乗せて走るのもまじか。みんなの鉄道として、だいに守りましょう。

おしらせ



一線美術会運営委員 九島寮二氏

一月の健康相談

一月の健康相談は、次のとおりです。

成人病健康相談は、八日と十二日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで。血圧測定のほか、尿検査、体重測定などを行います。

また、午前中は健康教育で、がん予防と食べ物について、午後からは健康体操など行います。場所は、中央公民館保健相談室です。

◇ 乳児健康診査は、十六日です。対象は六十年八月十六日から九月十五日までに生まれたお子さんです。
◇ 受付時間は、午後一時から一時半まで。

◇ 離乳食指導と七ヵ月児健康相談は、十六日です。

対象は六十年五月十六日から六月十五日までに生まれたお子さんです。

受付時間は、午前九時半から十時まで、おいでの時は母子手帳とパスポートを忘れずにお持ちください。

◇ つごうで受診できない場合は次回に受診してください。

◇ 三歳児健康診査は、九日です。対象は五十七年十一月、十二月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで、おいでの時は母子手帳、問診票を忘れずにお持ちください。
※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

母親教室

◇ 初妊婦を対象とした、母親教室は次のとおりです。
妊娠中から正しい知識を身に

つけて、十分な健康管理を行ない、安心して出産をむかえるようぜひ受講してください。

◇日時 一月七日、午前十時から午後三時まで。

◇場所 中央公民館保健相談室

◇受講内容 映画(生命創造、すばらしい母乳)、講話、調理と試食、実技(妊婦体操、赤ちゃんの風呂の入れ方)など行ないます。

◇費用 プラシ、母子手帳、昼食、ズボン(トレパン)をお持ちください。

国の進学ローン

来春、高校、短大、専門学校、大学に進学されるお子さまをお持ちの方、国の進学ローンをご利用ください。

◇融資額 五十万円以内

◇返済期間 進学する学校の修業年限以内で最長四年

◇利率 年七・六パーセント

◇申込先 六十年四月三十日まで、各金融機関(銀行、相互銀行、信用組合、農協等)へ。

善意

◇若妻連絡協議会(会長・三沢甲江)から産業祭食堂開設の収益金として二万円

◇県北商友会(会長・菊地義雄)から二万円

◇材木町 長岐恒雄さんから衣類七十四点
町社会福祉協議会へご寄付くださいました。

◇ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

◇ご芳志に深く感謝いたします。

◇新舟見町 西村信博さんから亡父民三郎さんの香典返し

◇花園町 武田豊民さんから亡父小四郎さんの香典返し

◇宮前町 亀山長三郎さんから亡父新三郎さんの香典返し

◇明利又 清水ハルエさんから亡夫昭一さんの香典返し

◇田子ヶ沢 佐藤文男さんから亡妻キノさんの香典返し



■誕生おめでとうございます
12月1日 / 12月15日

齋藤美沙子(彦志) 三女 太田

藤原めぐみ(與士美二女) 下舟木

山口 侑太(聡) 長男 横瀨
畠山 佳洋(悦美) 二男 脇神
津谷 明香(哲) 長女 緑ヶ丘
村上 真規(秀吉) 二男 掛泥
長岐 彩加(鉄正) 長女 七日市
三澤 浩二郎(鉄也) 二男 大堤
工藤 美希(茂美) 長女 小田
細田 大誓(喜久雄二男) 新屋敷町

■二人の前途を祝福いたします

澤田 雅 新舟見町
佐藤 正子 湯車
菊田 武 住吉町
加賀 朋子 宮前町

おくやみ申しあげます

藤嶋 英子(48歳) 街道町
藤田 豊吉(74歳) 材木町
清水 昭一(52歳) 明利又
佐藤 キノ(68歳) 田子ヶ沢
亀山 新三郎(88歳) 宮前町
仲村 ソノ(87歳) 今泉
奈良田 昭光(35歳) 下町
畠山 幸治(81歳) 元町
齋藤 キエ(82歳) 下町
嶺脇 仁吉(82歳) 材木町
岩谷 正四郎(63歳) 南鷹巣

今月の納期は 町国民税第四期 国民健康保険税第六期です



一人暮らしに喜ばしいプレゼント

青年ボランティアと婦人ボランティアでは、町内の一人暮らしのお年寄りを、12月15日矢立ハイツに招待して喜ばれていました。ことして8回目で19人のお年寄りたちは、ふだん遠出することがないため、思いがけない温泉招待に心が和み、盲人協会のマッサージのサービスを受け、昼食ではお酒の酔も回ってカラオケで楽しい一日を過ごしていました。

七日市、沢口、栄の三農協は、12月7、8の両日街頭で特産品の即売会を実施しました。町では「ふるさと会」を結成して、町の特産品を県外の会員約200人に送って喜ばれていますが、町内の人たちにも特産品を知ってもらおうとPRをかねて即売されたもの。町内の2会場では、長イモやトンプリ、ナメコ、ダマイモなどが飛ぶように売られていました。

新鮮な特産品の即売は大人気



共に生きる地域社会めざし

人口の減少と高齢化が大きな社会問題となつていますが、「共に生きる地域社会、をめざして、第2回町社会福祉研修大会が、12月11日午前10時30分から中央公民館で開かれました。現在クローズアップされている老人と少年の問題を住民の積極的な参加と協力で解決しようと、建設的な意見が続出。午後は福祉の充実に貢献された団体、個人の表彰が行われました。

西小学校児童会では、恵まれない人たちに役立ててほしいと、コツコツためた小銭59,166円を社会福祉協議会に贈りました。同児童会では、自分たちで出来ることを実行しようと、10月から11月にかけて、各家庭で眠っている小銭や、小遣い、つり銭をジュースやコーヒーの空ビンに入れて貯めたもの。社会福祉協議会では、歳末助け合い募金として配分することになりました。

恵まれない人に役立ててと



の広場



中央保育園
にしじまかずとくん
(6歳)



月日の流れと共に、年齢を考
える此頃ですが、幼い頃のお正
月は数々の思い出があります。
一足先に家々の餅つき音が
聞こえる中で「お正月の歌」を
友達と一緒に歌い乍ら遊んだ事
が懐しく思い出されます。お年



小森 トヨ (62)
小 森 トヨ (62)

お年玉・晴着・下駄

今回のテーマ 『正月の思い出』

玉、晴着、きれいな下駄三拍子
揃ったお祝いの品々を身につけ
た時の喜びは語りつくせない程
でした。今考えるとお正月は子
供の天下であったと思います。
おせち料理も手作りです。一
日中賑やかにはしゃいだもので
質素な生活に馴れた私にとって
おせち料理はまさに最高の御馳
走だったので胸をおどらせて喜
んだ事を今も脳裏に深く残って
います。仕事着から晴着に着替
え全員で神仏に手を合わせ無事
をお祈りする親の姿を見て頭が
下る思いで手を合わせました。

対談 親の意見・子供の意見



ヒメコマツ
マツ科

葉が5束(本)あるので五葉松と
言う。
南方系のものをゴヨウマツ、北
方系のものをヒメコマツ(キタゴ
ヨウマツ)として分類上区別する。
材質は密で軽く軟かい。

(南小学校 畠山 益穂先生)

わたしの自慢こ

得意の「秋田馬方節」で労働大臣賞

坊沢 城 口 健治 (56)

民謡に取りつかれて二十年
若い頃から唄が好きで、民謡
でない唄ではないと思っ
ているほです。

幼い頃、父が尺八を吹いて
いるのを見て、また兄が民謡
を唄っているのを聞きその頃
から民謡が好きになりました。
四十年頃には、義若師匠に
入門しましたが、仕事を持つ
ての練習なので、とても長い
道程でした。

五十五年九月に「秋田県民
謡連合大会」に出させていた
だき、初優勝、東北大会は準

優勝となり、その後何か出
場しているうちに、全国大会
へ出ることができました。

昨年の十一月十四日から四
日間東京で行われた全国大会
には、全国より五十六人の地
方予選を勝ち抜いた方々で、
自慢のノドを競い合いました。
私は二十年間唄ってきた「馬
方節」を唄い、七百九十五・
五点の高得点でした。

十七日の決勝には、山口労
働大臣より表彰状と大カップ
キンカン本舗より大楯、協会
より優勝旗と大カップを受け
ました。



この受賞は、これ
まで指導してきてく
れた師匠、支部のみ
なさんのおかげです。
これからは、若い
人達を指導し、多く
の方が民謡を唄える
ようがんばってゆき
たいと思っております。



中央保育園
こんどうつみこちゃん
(6歳)

みんな



社会の移り変りと共に生活様式も変りました昨今ですが、伝統ある行事だけは決して下火にならぬ様日常生活を通して大事に守りつづけていきたいと思います。

なつかしい雪遊び



摩当 小坂 文孝 (35)

正月の思い出は、雪遊び、年越しそばと餅、お頭付きの魚「キンキン」を食べられる事、従兄達と会える事などでした。
真白く身の引きしまるような初雪の上でのいろいろな遊び：雪を固く握って固さを競う「玉ぶつけ」「竹すべり」いつまで



寅年

今年寅年です。「虎は千里を行って、千里を帰る」という諺があります。一般には「勢いの盛んなこと」の例えとして用いられますが、もう一つ別の解釈があるようです。さて、その虎は何をしに千里の道をあわてて帰るのでしょうか。

実は、虎は自分の子供のこと

も鬼からぬけれなかった「かくれぼち」年の上下男女の区別なく手をつないだり走ったりした「陣取り」「城取り雪合戦」など、わずか二十戸足らずの集落だが十数人も集まった。遊びに夢中になっているうちに、いつの間にかうす暗くなっている、そんな毎日だった。

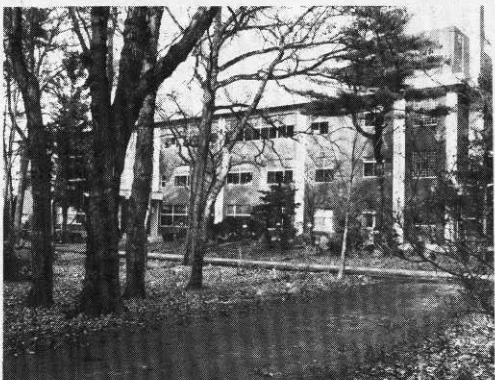
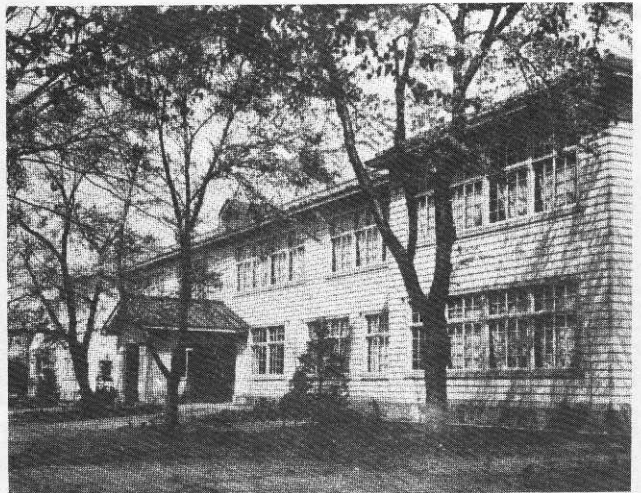
あの快い遊び疲れを、今の子供達にもぜひ経験してほしいと思う。

過疎化の進む我が町だが、子供達が生き生きと何時でもどこでも喜んで遊べる町、家庭を作る事が、いじめ、校内暴力、非行、自殺等から子供を防ぐことが出来るのじやないかと思う。また、若者を地元に着させ、町を活性化する事が、私達の責任だと思えます。

が心配で戻るのだといえます。恐ろしいものの代表のように言われている虎ですが、大変に子供を大切にしているのだそうです。「虎の子」と言う言葉もこのあたりから来たのでしょうか。

「虎の巻」とは、中国古来の兵法書、いくさの仕方を教える書物に由来する言葉のようでした。虎は中国をはじめ、東南アジアなどには広く分布していますから、エトのつくられた中国ではなじみのある動物だったのです。

「翠緑万古 伊勢堂の森...」の校歌に唱われているとおり、大正2年に鷹巣農林高校は伊勢岱に新校舎が落成された。さらに昭和12年に改築され、写真の校舎は2代目の校舎で46年まで、本県の農林業後継者教育の殿堂として多くの子弟を排出した。現校舎は46年に建てられた近代的な鉄筋コンクリート建である。



たかのすの昔



作坂から市街地と森吉山を望む